

広島大学法科大学院

資 質 確 認

2020年9月12日（土）

11：30～12：10

注 意 事 項

- 1 これは資質確認の問題冊子です。ページ数は、表紙を除いて1ページです。
- 2 解答用紙は1枚、下書用紙は1枚です。解答用紙の記載を確認し、所定の解答用紙を使用してください。
- 3 解答は所定の解答用紙に**横書き**で書いてください。**罫線外及び裏面**を使用してはいけません。なお、使用する筆記用具の指定はありません。
- 4 解答用紙の所定の箇所には、受験番号のみを記入してください。氏名を書いてはいけません。
- 5 配布した解答用紙は持ち出してはいけません。
- 6 試験時間の途中で退室することはできません。
- 7 試験終了後、問題冊子及び下書用紙は持ち帰ってください。

【問題】（50点）

A市において伝染病が発生し、A市外へ感染が広がる危険性が高いことから、A市では都市封鎖（ロックダウン）の措置が取られ、A市外への感染拡大は完全に防ぐことができた。一方、A市では、伝染病に対する日常的な予防措置として、マスクの着用、うがいの励行及び感染者や感染リスクの高い場所に接触・接近しないことなど（以下「予防措置」という。）を広報したが、感染を十分には防ぐことはできない状態であった。A市内での感染は拡大し続け多くの市民が感染し、そのうちの一定数の感染者は直ちに集中治療室に収容し医療対応することが必要となる患者であった。こうした患者の人数がA市内の医療機関の全ての収容可能患者数を超える可能性があったことから、医療機関で受け入れる患者の優先順位を決めることが必要となった。

空いている集中治療室に受け入れる患者の優先順位として、まず、治療の緊急性がある患者を最優先とし、さらに患者の治療の必要性の程度などの医療的観点を考慮することとし、それらによって差異がない場合には、①医療機関への到着順とする見解、②当該患者が予防措置を取っていたかどうか、どの程度の予防措置を取っていたかを考慮して決める見解とが考えられた。なお、患者個々人の予防措置の有無、程度については受入れ時点で明らかになっているものとする。

前記①②のいずれの見解を採るべきか。それを選択する理由について、選択しない見解と比較検討した上で簡潔に述べなさい。